

TURBULENT TIMES

THE STATE OF BACKPACKING AND SEASONAL FARM WORK IN AUSTRALIA

PRELIMINARY REPORT
JANUARY 2023

EXECUTIVE SUMMARY

激動の時代：オーストラリアにおけるバックパッキングと農業の季節労働の現状

エグゼクティブサマリー（要旨）

移民はオーストラリアの農業労働力で重要な部分を占めています。移民は農業にとり莫大な経済利益であり、地域の社会や文化の活気に貢献しています。農業の季節労働の大部分を占めている2つの主要なビザカテゴリーであるワーキングホリデーメーカー (WHM) の「バックパッカー」プログラムと、太平洋諸島の労働者のための新たな政策であるパシフィックオーストラリア労働移動性スキーム (PALM) は近年大幅に拡大しています。このような一時滞在ビザ保有者は、地域コミュニティに数か月前には数年住んでいましたより、オーストラリアの農業における移民労働者への依存の欠点が増加し、膨らみになりました。旅行やビザの遅れ、保健に関する制限、ウイルスの発生への懸念、そして進行中の労働力不足により数年間激動した年となり、移民農業労働者の促進と支援に関与するすべての人々に重大な影響を及ぼしました。メディアでは大幅な労働者不足について取り上げられたり、畑で果物が腐敗し、農家が助けを求めるニュースが見られますが、移民労働者を地域に戻すための2022年の政府のインセンティブは効果が限られています。オーストラリアに残った一時滞在ビザ保有者に対する社会的および文化的態度にも大きな変化がありました。オーストラリアの国境は2022年2月に完全閉鎖され、今後のオーストラリア農業の季節労働者に関する調査の予備調査結果を概説しています。この報告書は、今後のオーストラリア農業の季節労働者に関する調査の予備調査結果を概説しています。完全に再開されましたが、移民労働者、特にWHMビザの労働者の帰還は予想以上に遅滞しています。クイーンズランド州の園芸の仕事に就くバックパッカーと太平洋諸島の労働者に焦点を当てた洞察および調査結果は、農業の移民労働者の促進と支援に直接関与している業界、政府、コミュニティ全体の利害関係者への44のインタビューに基づいています。このプロジェクトは、グリフィス大学のカヤ・バリー博士が主導し、3年間のオーストラリア研究評議会早期キャリア研究者賞（プロジェクト番号20100394）の利害関係者が直面する懸念と課題の資金提供を受け、実施されています。

- 1) パンデミックによる国境閉鎖と保健に関する制限によって引き起こされた混乱。パンデミックの発生を食い止め、防止、検疫を扇動、移民に対するコミュニティの否定的な態度を緩和するための取り組みは、教訓を示し、未来の災害と健康に関する提案を提供します。
- 2) 移民農場労働者が利用する宿泊施設提供者の見落とされた役割。「ワーキングホステル」は、季節雇用者と潜在的な労働者間の主要なパイプであり、ビザプログラムの拡大とともに数と規模が増加しています。調査結果は、共同宿泊施設に住む労働者の日常生活を促進する上での独特な課題を示しています。

3) バックパッカーから太平洋諸島労働者へのシフトにより、地域社会で文化の変化が起こっています。調査結果は、太平洋地域主導の情報と支援サービス、および労働者と地域社会の間の文化的認識とコミュニケーションの改善が緊急に必要であることを示しています。

この報告書は、今後の研究でさらに調査が可能な重要な分野をいくつか示していますが、移民農業労働者に関する今後の計画と政策決定に利用できる利害関係者間の固有の課題と視点にも焦点を当てています。